

学術研究助成者一覧表  
(2019年度・第28回)

[地学] 12名

NO	氏名	研究課題	助成金
1	今井 拓哉	化石カメ類卵における乾燥化への適応:手取層群桑島層・北谷層(前期白亜紀後期)におけるケーススタディ	68.9万円
2	大村 文乃	化石種ベレムナイトの運動様式を推定する形態学的基盤の構築～頭足類の運動器の機能形態学的アプローチ～	60万円
3	北野 一平	東南極リュツォ・ホルム岩体における高温変成岩のジルコン年代と全岩化学組成から読み解く大陸衝突過程	70万円
4	關 明日香	中生代北西太平洋域における沈木生態系の初期進化の解明	55万円
5	関 有沙	堆積物の元素組成から読み解く、日本海の炭酸塩溶解と第四紀気候変動との関係	45万円
6	田中 源吾	古生代後期の日本列島の位置を探るー介形虫化石群を例にー	34.8万円
7	田村 裕二郎	日本の花崗岩を用いて復元する過去1億年の地磁気変動	58.5万円
8	成田 敦史	北海道東部糠平・本別地域の中新世ー更新世植物化石群の年代と古植生・古気候	52.3万円
9	羽田 裕貴	約300万年前の温暖期における北西太平洋の古海洋・古気候変動	40万円
10	藤岡 大	腕足動物殻に記録された古環境記録は埋没続成作用によってどう改変されるか?	60万円
11	村宮 悠介	炭酸塩コンクリーションの形態解析による古生物の軟体部復元	50万円
12	安井 謙介	日本移入期におけるナウマンゾウの実態の解明	53.5万円

[植物学] 12名

NO	氏名	研究課題	助成金
1	板垣 ひより	ヘソタケ科 <i>Pyrenopeziza</i> 属の標本とDNA配列を用いた種多様性の探索と、バーコード的手法の有用性の検討	47.5万円
2	嶋村 正樹	人工交配実験を通じたコケ植物の有性生殖における自他認識の研究	56万円
3	高原 光	最終氷期最盛期における東北地方南部立谷川河床埋没林(山形県天童市)の植生復元	65.2万円
4	高山 浩司	海流散布植物ハマボウの潜在的近交弱勢と他殖促進機構の解明	70万円
5	都築 洋一	なぜ同一集団の個体間で開花時期が異なるのか:フェノロジーと繁殖戦略の統合による植物の時間利用戦略の解明	80.7万円

NO	氏名	研究課題	助成金
6	東馬 加奈	腊葉標本から探る大都市における戦前の植物相について	67.4万円
7	長沢 耕樹	多雪環境における環境指標種トガクシソウの隔離分布成立過程の解明と保全遺伝学的研究	70万円
8	中濱 直之	遺伝情報を長期保存できる植物乾燥標本作製手法の開発	70万円
9	孫田 佳奈	ユキノシタ科ダイモンジソウにおける異なる光環境への適応による生態的種分化機構の解明	51.1万円
10	三宅 崇	リュウキュウサネカズラとサネカズラの分布境界付近における送粉共生系の解明	85万円
11	八木 龍太	Rhizoctoniaと共生するラン科植物の栄養摂取様式の解明	70万円
12	李 俊男	クロユリの花が分泌する多量の浸出液:擬態花における報酬の機能と進化	60万円